

なごみ

nagomi



JA愛知厚生連
江南厚生病院

Vol. 39
2017.10

INDEX

コラム

① 健康管理センターのご紹介

② 超低線量全身X線撮影装置 sterEOS 導入

③ 「健康寿命」は、1日1日の積み重ねから

トピックス

介護タクシーについて

禁煙外来について

高校生一日看護体験について

イベント紹介

院内コンサート

お知らせ

糖尿病食食事会のお知らせ

がんサロン「にじの会」のご案内

2017 公開医療福祉講座

保険証の確認について

面会時間のご案内

診療日カレンダー

病院理念

- 私たちは「患者さん中心の医療」を実践します
- 私たちは患者さんの安心と信頼を得るように努力します
- 私たちは医療人としての誇りと自信を持って行動します

健康管理センター のご紹介

江南厚生病院健康管理センター
健康管理課長 安原 俊弘



江南厚生病院健康管理センターは、平成20年5月に「ずっとあなたの健康を見守っています!」をスローガンに病院併設型健診施設として移転・新規開設され、早9年が経過しました。その間、当センターの受健者も、平成20年度 10,549人から平成28年 15,694人と順調に増加してきています。

通常の間人ドック、脳ドック、肺がんドックなどの各種コースに加え、最新の機器を駆使し、数々のオプション検査(脳検査、乳癌・子宮癌・肺癌・前立腺癌・卵巣癌、PET-CT検査、メタボ検査、内臓脂肪検査を含む動脈硬化検査など)を行なっています。今年度は、sterEOS用いた脊椎検診も導入しました。病院併設のセンターとしての利点を生かし、病気の早期発見から効率よく精密検査・早期治療がおこなえるように専門外来へご案内することができます。

当施設は、中央に光庭を配した健診空間が特徴で、ロビーから延びる十分なスペースを持った廊下が、回廊のように続いています。廊下の左右に健診室があり、女性専用の待合室がある健診室をまとめて配置しています。また、胃透視や診察を待つ廊下にも光庭を配し、四季を感じさせる力エデを主木として苔と石を調和させた和風空間が心を和ませてくれます。アテンダント(案内者)を配置し、受健者の方がスムーズに健診ができるよう進捗管理を行なっています。

質的充実・拡大のため、平成26年12月には2回目の人間ドック学会の人間ドック健診施設機能評価を受審し、全国標準に照らして客観的評価を行いました。

また、毎年江南市農業まつりに参加し、健診(身長・体重・視力・血圧・簡易骨密度・血管年齢)や栄養相談、健康相談も実施しています。

健康管理には、疾病の予防や早期発見が大切であることは言うまでもありませんが、そのために健診のさらなる充実をはかり地域の皆様の要望に答えていけるよう、今後も職員一同努力をしていきたいと思っております。



ご利用方法

全て予約制になっております

予約受付時間

平日の午後1時から4時まででございます

お申込み・お問い合わせ

電話 (0587) 51-3311



超低線量全身X線撮影装置 sterEOS導入



2017年4月より超低線量全身X線撮影装置sterEOS(以下sterEOS)が江南厚生病院に導入されました。これに伴い健康管理センターにてsterEOSを用いた脊椎検診(オプション検査)を実施していますので紹介させていただきます。

sterEOSは、ノーベル賞の技術を用いた新しいコンセプトのX線画像診断装置です。さらに、これまでにない超低線量であり、わずか20秒で全身の骨格を高画質で撮影することができます。これにより骨格姿勢(背中の曲がり・猫背・骨盤のゆがみ・下肢のゆがみなど)、変性性脊椎疾患(変形性脊椎症、腰部脊柱管狭窄症、変性側弯・後弯症など)、無症候性脊椎骨折いわゆる「いつのまにか骨折」などを早期に発見することができます。また本検査にて、さらに詳細な検査が必要であったり、治療を要する異常が見つかったりした場合は、江南厚生病院の脊椎脊髄専門医の診察を予約させていただきます。1検査5,400円でオプション検査として実施しております。人間ドックと同時に是非ご利用ください。



— 「健康寿命」は、 1日1日の積み重ねから —

江南厚生病院健康管理センター
保健師 江口 智美



「健康寿命」という言葉、最近よく耳にしませんか？この言葉は「健康上の問題で日常生活が制限されることなく、自立して健康に生活できる期間のこと」をいいます。今年3月に厚生労働省から、日本人の平均寿命が男性80.75歳、女性86.99歳と過去最高を更新したことが発表されました。せっかく長生きをするのなら、元気に楽しく生きていくことが理想ですよ。

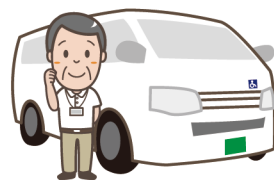
では、どうしたら健康寿命を延ばせるのか？5つのポイントとして『①運動、②食事、③禁煙、④薬、⑤健診』があげられます。①体を動かして転倒や寝たきりの原因口コモを予防。②塩分を控えて、よく噛んでバランス良く食べる。③自分と家族のために、しっかり禁煙。④かかりつけ医と相談して薬と上手につき合う。⑤健康管理と病気の早期発見のため毎年健診を受ける。

身近な生活習慣だからこそ、1日1日の積み重ねが健康寿命の源となります。ある登山家の方のように、80歳でエベレスト登頂！とはいかないと思いますが、自宅の階段は楽々上れるような生活をしたいですよね。

「よ～し！明日から！」ではなく、今日から早速始めてみましょう！



介護タクシーについてのご紹介



病気や怪我などでお体が不自由になってしまうことで、一人での外出や通院、自宅退院の際にお困りになることがあると思います。

介護タクシーは、目的地までの送迎だけでなく付き添いや外出の際の支援や乗車の手伝い、目的地での降車後の移動介助も対応してくれます。

搬送方法も車いす、リクライニング型車いす、ストレッチャー（寝台）とお体に合わせて選択することができます。

介護タクシーの料金は、主に以下のものがかかります。

① タクシーの移送料金

通常のタクシーと同じように、自費利用でメーター制や時間制など各事業者にて利用料金が設定されています。

② 乗務員の介護に対する介助料金

利用される方が介護認定を受けており、利用目的が介護保険の適用範囲内であれば介護保険が利用できる場合があります。担当のケアマネジャーにご相談ください。

③ 車いすやストレッチャーなどの介護器具レンタル料、迎車料、待機料など

身体障害者手帳や市町村のタクシーチケットなどが利用できる場合があるので、ご利用される前に各事業者へご相談ください。どのような事業者があるかは、江南厚生病院 2階 患者相談支援センターでも情報提供しておりますので、通院等お困りな方はご相談ください。



イベント紹介

院内コンサート Concert

6月21日
(水)

ポロンポロン扶桑

クラシックギターのやさしい音色と和音。ホッと落ち着く演奏会でした。



7月19日
(水)

演歌

名曲を、こぶしをきかせて歌い上げ、華麗な舞踊で会場を魅了していました。



8月22日
(火)

チルドレンコンサート

一生懸命に演奏する姿に、元気をわけてもらえたと感じるステージでした。



“いつかはたばこをやめたいと思っていないですか？”

喫煙は、がん、脳卒中、心筋梗塞、慢性閉塞性肺疾患、糖尿病および歯周病などさまざまな疾病の危険因子です。平成17年に「たばこの規制に関する世界保健機関枠組条約 (WHO FCTC)」が発効され、世界的にもたばこ対策が進められており、我が国でも「健康日本21」に基づき「禁煙支援マニュアル」の策定がされ、禁煙支援の取り組みが進んでいます。

たばこの煙には、200種類以上の有害作用があり、60種類以上の発癌性物質が含まれています。直接吸い込む「主流煙」と火のついた部分から立ち昇る「副流煙」があり、ニコチンなどの有害物質は、主流煙より副流煙のほうがはるかに多く含まれ、吸わない人の健康もおびやかすことから、受動喫煙も含めたたばこによる健康被害の減少の取り組みが盛んにおこなわれています。

やめられない喫煙は「ニコチン依存症」という治療の必要な病気です。当院では呼吸器内科医師と禁煙認定看護師3名を含む内科外来看護師で禁煙外来を行っています。禁煙を希望している方や迷われている方は、看護師がお話を伺わせていただきますので、内科受付までお尋ねください。

医師と看護師が個々の患者さんに適した禁煙をサポートしています



禁煙外来
毎週火曜日
14時～16時



高校生一日看護体験研修を開催しました

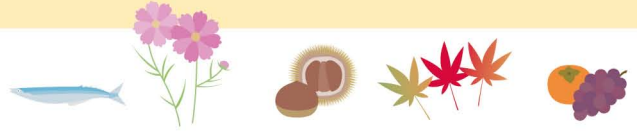
毎年、高校生を対象に『一日看護体験研修』を実施しています。これは、実際の看護場面を体験することにより看護の心を理解してもらうだけでなく、体験を契機として看護職を志望する人の増加を図る目的で行われています。平成27年度までは愛知県健康福祉部が主催していましたが、平成28年度からは愛知県ナースセンターが主催しており、愛知県内の高等学校222校に在学する生徒の中から1,400人を募集し、愛知県内の看護師学校養成所の実習病院73施設で研修を行っています。

今年は8月2日(水)に34名の学生さんが参加されました。午前中は病院の概要や看護師の仕事の実際、看護師になるにはどのような進路があるかなどの講義のあと、病院内を見学しました。午後は3～4人に分かれ、病棟で実際の看護場面を見たり、ケアに参加しました。「自分の将来のためにとっても良い勉強になったし、看護師になりたいと強く思いました」「患者さんから「ありがとう」と言ってもらえてすごく嬉しかった。良い職業だと思いました」など、将来の自分について考えることができていました。また、「さまざまな患者さんがいる中で、患者さんに合わせた声掛けをされていてすごいなと思いました」「情報伝達やチーム医療の大切さを学びました」「治療だけでなく、患者さんの心のケアや自立支援をしているとわかりました」など看護師の役割についての理解も深めてもらえたようでした。

当院では愛知県の委託事業とは別に、当院オリジナルの高校生インターンシップも開催しています。これからの時代を担う若者が少しでも看護に関心を寄せて、看護の道に進んでくれることを願っています。



糖尿病食食事会のお知らせ



みなさん、糖尿病の食事療法はうまくいっていますか？食事療法は実際に食べてみるのが一番です。毎年恒例の糖尿病食食事会を下記のように企画しましたので、奮ってご参加ください。当院の患者さんとご家族の方以外でもご参加いただけます。

- 日 時：平成29年12月2日(土)
11:30～13:00頃まで
 - 場 所：江南厚生病院 2階 講堂
 - 費 用：600円 当日受付でお支払いいただきます。
(混雑防止のため、おつりのないようにご準備ください。)
 - 予約期間：10月2日(月)～ 定員60名になり次第終了
- ※不明な点は内科外来17番 看護師にお尋ねください。

なお、準備の都合上、予約制とさせていただきます。予約は、下記の期間に内科受付にて行いますが、定員となり次第締め切りとさせていただきますのでご了承ください。

※電話予約：代表(0587)51-3333
→内科受付におつなぎします。
(電話での予約は平日13:00～16:00に限定させていただきます。)

平成29年度 がんサロン「にじの会」のご案内

- 対 象 がんを患っている患者さん
あるいは、そのご家族
- 内 容 10:00～10:30 プチ講座(2か月毎に内容を変更します)
10:30～11:30 参加者同士の交流会



参加費
無料

●日程とプチ講座のテーマ

日時(予定)	テーマ(仮)	担当
10/7(土)、 11/7(火)	がん患者のための食事の工夫	管理栄養士
12/2(土)、 1/16(火)	サプリメントとのつきあい方	薬剤師
2/3(土)、 3/6(火)	ここまでできる！在宅医療の実際	ソーシャルワーカー

- 場 所 外来2階 多目的室 ※外来用エレベーター前
- 参加方法 自由参加

<問い合わせ先> 患者相談支援センター(がん相談)
TEL(0587)51-3346 FAX(0587)51-3317
E-メール:gansodan@konan.jaaikosei.or.jp

2017 公開医療福祉講座

- 場 所：江南厚生病院2階 講堂
- 時間：13:30～14:30
- 日程と内容

10月12日(木)	乳腺内分泌外科 部長 飛永 純一
11月22日(水)	臨床検査技師 市川 潤 林 智恵
12月 6日(水)	江南中部地域包括支援 センター センター長 大森 美穂

超高齢社会で私たちが
ができること
～地域包括ケアシステム
ってなあに?～

お問い合わせは・・・江南厚生病院
「患者相談支援センター」野田・梶原 まで
TEL (0587)51-3310

●保険証の確認について

当院では毎月一度保険証の確認を行っています。外来受診の際は各外来受付か新患受付へ、入院中の方はスタッフステーションに保険証をご提示ください。なお、氏名、住所、電話番号等の変更があった場合もご提示をお願いいたします。

●面会時間の ご案内

平 日	土・日曜日・祝日
15:00～20:00	13:00～20:00

※多人数室の面会は、同室の患者さんの迷惑にならないように談話コーナーなどをご利用ください。

※患者さんの安静は治療上大切です。容体によっては面会をお断りする場合があります。

2017年(平成29年) 診療日カレンダー

■ 休診日(第2・4・5土曜日は休診です) ■ 午後休診

10月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

11月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

12月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

発行日/平成29年10月1日

発行/JA愛知厚生連 江南厚生病院 広報委員会

〒483-8704 愛知県江南市高屋町大松原137番地 TEL(0587)51-3333 FAX(0587)51-3300